

# わんにゃん通信



春を一気に飛び越して真夏の暑さが

続きます。たまに早起きをして外を見てい

ると もう5時前から 外は明るくない

始めているんですね。そんな日は一日がと

ても長く感じます。



## 熱中症と暑さ対策

晴天の日は 真夏を感じる気温になってい

ます。体毛で覆われている犬 猫にとって

は過酷な季節です。

暑さの厳しい7月や8月だけでなく 湿度

の高い5月、6月がより注意が必要です。

**犬猫には汗腺がほとんどないので**

人のように汗をかいて体温調節を

することが出来ません。犬が舌を出

して「ハア、ハア、ハア」

とやっているのは唾液を蒸発さ

させて熱を放出しているからです。

**湿度**が高くなると溜まった熱を

逃すことが難しくなり熱中症にな

る割合が高くなります。

具合が悪くなっても言葉で訴える

ことができない上 日中お留守番を

している犬猫も多いはず、 対処が

遅ければ命を落としかねない怖い

病気です。

危険にさらされないように暑さ対

策や、もしもの場合の緊急処置を

知っておいて これからの季節をが

んばって乗り切っていきましょう。

(対策 処置法は裏に続く)

# 熱中症

**症状** 急激に体温上昇がするため

苦しそうに開口呼吸をしたり 多量のよだれを出したりします。そのまま時間が経過すると血液混じりの下痢や吐き気 痙攣を引き起こし 血圧の低下が起こり呼吸器不全に陥ります。シヨック症状や意識が低下してくると最悪の場合死に至ってしまうこともあります。ジメジメした暑い日にそのような症状が見られたら **部屋の喚起を良くして水をかけるなど** とりあえずの処置をしましょう。一刻を争うことでもありますので 病院に搬送する前の処置が重要になると言えます。

# 暑さ対策

外で飼育している犬の問題は**直射日光**

です。一日至る方向から日が射してきます。犬小屋は日は避けられますが熱がこもりやすいので **近くにヨシズを立てかけて日陰を作ってあげましょう**。コンクリートや土の上は熱を溜め込みやすいので日陰の下に**すのこ**を置いておくと身体の下風の風通しもいいでしょう。移動できるだけのリードの長さの確保も忘れずに。  
室内飼育の場合は窓を開けるなど**換気**が重要です 弱めに冷房を入れておくかクールマットの使用 涼しい部屋へ自由に移動できるようにドアの開放も忘れずに。

## 健康診断キャンペーン中

待合室でもポスターでお知らせしていますが フィラリアの採血と一緒に血液の健康診断を受けてみませんか？

なんとなく健康面が気になっているならお手軽な価格で炎症系の検査と内臓系の検査が行えます。

この機会をどうぞご利用ください。

